

算数科学学習指導案

相模原市立横山小学校
指導者 高橋 那央

- 1 日 時 令和元年12月17日(火) 4時間目
2 場 所 PCルーム(A棟2階)
3 学年・学級 第4学年1組 41名
4 単元名 計算のきまり
5 本時の授業計画
(1) 本時の目標 代金をもとめるプログラムを作ろう
(2) 本時の流れ

	学習活動と内容	・指導上の留意点 ☆評価
導入	○前時の復習	・数式の確認 ・半角数字の入力方法の確認など
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ケーキ屋さんで1個78円のシュークリームをいくつか買い、126円の箱に入れました。代金はいくらでしょう</div> ○ノートに数式を書く。 $78 \times \square + 126$ $126 + 78 \times \square$ ○プログラミングを作成する。 ○プログラミングの限界を教員機で理解する ・半角数字では計算することができない。 ・入力をした桁が大きすぎると、正しく計算することができない。 ・「0」を入力すると、答えが126になること。	・プログラムが組めた児童は、正しく計算ができているか確認をする。 ・数式はあっているが、現実的には箱をケーキ屋さんで買いにはいかない。そういった状況判断がコンピューターにはできないことを理解させる。 ☆立式した式をプログラミングに活用することができたか。
まとめ	○身のまわりにある機械にもプログラミングが使われていること知る。 ・パソコン ・クーラー ・みんなのトイレなど	